

平成30年度 地方創生推進交付金事業検証シート

交付対象事業	田原本町の歴史・文化資源活用事業
--------	------------------

事業検証

事業内訳	交付対象事業費(円)	交付決定事業費(円)
史跡公園魅力促進事業	11,185,000	10,300,143
チャレンジスペース利用者を対象とした事業自立化支援事業	1,000,000	0
計	12,185,000	10,300,143

※交付金は交付決定事業費の1/2

事業名	史跡公園魅力促進事業		担当課	文化財保存課
事業評価	進捗状況	秋に第1回目となる「弥生のムラまつり IN 唐古・鍵」や、毎月、古代体験・昆虫観察等のイベントを実施した。また、弥生時代の大型建物をAR技術によりタブレット・スマートフォンでみることができるアプリ「AR唐古・鍵」を開発、公開した。		
	事業効果	2日間かけて開催した「弥生のムラまつり」には4,160人の来場者があった。また、アプリ「AR唐古・鍵」は、令和元年9月末現在で計484件のダウンロード数を数える。		
今後の方向性	「弥生のムラまつり」では、他イベントとの連携することで、誘客と来場者の満足度をより高めていく。アプリでは、利用者増を図るため、チラシ等の配布やイベントでの周知、掲示の工夫を行い、遺跡や公園の魅力を発信していく。			

事業名	チャレンジスペース利用者を対象とした事業自立化支援事業		担当課	観光・まちづくり推進課
事業評価	進捗状況	平成30年4月20日道の駅オープン以来、チャレンジスペースは多くの利用がある。(年間280日)		
	事業効果	チャレンジスペースの利用はあるものの、利用者を対象とした事業自立化支援には結びついていない。		
今後の方向性	スペース利用者に対して、事業周知を図り自立化支援につなげていく。			

KPI検証

KPI	事業開始前 (平成29年度)	目標値 (平成30年度増加分)	実績値 (平成30年度増加分)	目標値 (令和元年度増加分)
道の駅における一人あたり購入額(円)	0	800	1,127	200
イチジクの新たな作付面積(反)	0	5	0.5	5
道の駅チャレンジスペース 延べ利用日数(日)	0	100	280	50
観光客入込客数(人) (道の駅来場者数)	0	366,000	261,793	34,000

KPI	道の駅における一人あたり購入額(円)	担当課	観光・まちづくり推進課
評価	平成30年4月20日道の駅オープン以来、多くの来場者があり、購入額の目標値は超えている。		
今後の方向性	今後も売上増加と、更なるPRと観光客誘致し来場者増加による目標値の達成を目指す。		

KPI	イチジクの新たな作付面積(反)	担当課	農政土木課
評価	徐々に作付面積が増えており、今後も勸奨することで作付面積が増えるものと見込んでいる。		
今後の方向性	作付から出荷までに期間を要するため、すぐに実績が出ず面積拡大出来るようなものではないので、町内での実績が出てから目標年度内に目標作付面積の達成を目指す。		

KPI	道の駅チャレンジスペース延べ利用日数(日)	担当課	観光・まちづくり推進課
評価	平成30年4月20日道の駅オープン以来、チャレンジスペースは多くの利用がある。(年間280日)		
今後の方向性	高頻度の利用は維持しながら、起業を目指す利用者へのチャレンジスペース利用の周知を検討する。		

KPI	観光客入込客数(人)(道の駅来場者数)	担当課	観光・まちづくり推進課
評価	平成30年4月20日道の駅オープン以来、多くの来場者があったが、目標値には達していない。		
今後の方向性	来場者数の目標値は達していないが購入額目標値は達成していることから、更なるPRと観光客誘致しレジ通過者数が伸びるような運営を検討する。		